

令和8年第1回白馬村議会定例会 産業経済委員会審査報告

本定例会において、産業経済委員会に付託された案件は、議案7件です。審査の概要と結果を報告します。

議案第5号 飯田交流センターの指定管理者の指定について

白馬村飯田交流センターの指定管理者の指定期間終了に伴い、再指定をするためのもの。

[質疑・意見]

問 飯田交流センターの所管が農政課となっている理由と、所管は違うが、白馬町交流センターの所管が総務課となっている理由は。

答 飯田交流センターは、林野庁の補助金を活用したため、農政課所管となっている。また、白馬町交流センターについては、地区役員の個人名義であったが、管理しきれないということで、村に建物を寄付し地域が活用する形で、村が受贈財産として建物を取得したという経緯から、総務課所管となっている。

討論はなく採決したところ、議案第5号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

議案第6号 白馬村農業用水小水力発電施設運営基金条例の制定について

農業用水小水力発電施設の適切な管理運営することを目的に、財源を確保するための基金を設置するためのもの。

質疑討論はなく採決したところ、議案第6号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

議案第7号 白馬村農業用水小水力発電施設の設置及び管理に関する条例の制定について

農業用水小水力発電施設の設置及び管理に関し、必要な条例を制定するもの。

[質疑・意見]

問 今後、新たに小水力発電施設が整備されれば、本条例の第3条に付け足す形

になるのか、新しく条例を作る形になるのか。また、すでに稼働している平川小水力発電施設の関連性は。

答 第3条の条文に追加していく形になる。平川小水力発電施設については、白馬村土地改良区の所有であり、村管理の施設ではないため、本条例との関連はない。

討論はなく採決したところ、議案第7号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

議案第9号 白馬村鉱泉源振興基金条例の制定について

温泉資源の保護と安定供給の確保、利用環境の整備等により、温泉資源の持続可能性を確保する目的から、鉱泉源の保護管理施設への整備に資する事業の財源を確保するための基金を設置するためのもの。

質疑討論はなく採決したところ、議案第9号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

議案第28号 令和7年度白馬村一般会計補正予算(第7号) 所管事項

【農政課関係】

農地費3704万円の減額は、野平地区の災害復旧工事に伴う設計内容の変更による減額と、ほ場整備事業の事業完了による清算によるもの。森林整備事業152万4千円の減額は、事業完了による清算。過年発生農地農業用施設災害復旧事業77万円の増額は、令和6年の豪雨災害による、堀之内地区谷地川の頭首工工事の変更増加に伴う増額。

[質疑・意見] なし

【観光課関係】

デマンドタクシー運行事業438万2千円の減額は、12月より4台体制で運行する予定だったが、委託業者の運行許可申請の手続きが遅れたことにより、運行日数が減ったことと、昨年度の実績により3月の夜間運行をやめたことによるもの。21観光戦略事業497万7千円の減額は、事業の清算による観光振興負担金。観光地経営事業4349万3千円の減額は、宿泊事業者のシステム改

修事業によるもの。

[質疑・意見]

問 ナイトデマンドタクシーの早期運行終了は、観光課内の判断で決めたのか、また、運行会社との契約上の理由はあるのか。

答 今年度の運行実績と例年イベント終了後に乗車数が急激に減るため、費用対効果を勘案したうえで、3月の運行を取りやめたものである。また、運行会社と調整をしたが、月途中の運行は、投資効果が見込めないということで判断した。

【建設課関係】

土木総務事業526万5千円の増額は、駅前無電柱化に伴う地元負担金。道路維持補修事業100万円の増額は、地区への資材等の原材料費によるもの。

[質疑・意見] なし

【上下水道課関係】

公共下水道事業155万円の減額は、白馬山麓事務組合派遣職員に係る人件費を下水道事業会計から振り返るもの。下水道事業会計補助金571万4千円の減額は、派遣職員の白馬村負担分。白馬山麓事務組合等負担金416万4千円の増額は、衛生費の負担金と合わせた白馬村負担分。

[質疑・意見] なし

各課の審査が終了し、全体的な討論はなく採決したところ、議案第28号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

議案第31号 令和7年度白馬村水道事業会計補正予算（第3号）

収益的収入に727万1千円を増額し、収益的収入総額を4億155万4千円とし、収益的支出に346万円を増額し、収益的支出総額を3億249万8千円とするもの。

収益的収入および支出の主な増額は、白馬村上下水道DX推進事業に係る国庫補助金の計上と令和6年度末新規登録分の有形固定資産減価償却費が主なもの。

[質疑・意見]

問 減価償却費の増額については、新たな投資項目があったということではなく、従来の資産の中から減価償却費が出たという解釈でよいのか。

答 主に更新事業によるもので、管路や機器の更新に関わる固定資産の登録により発生する減価償却費の補正である。

討論はなく採決したところ、議案第31号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

議案第32号 令和7年度白馬村下水道事業会計補正予算（第3号）

収益的収入に571万4千円を減額し、収益的収入総額を4億8590万3千円とし、収益的支出に37万2千円を増額し、収益的支出総額を4億7910万円とするもの。予算第4条本文括弧書の「不足する額1億1610万3千円」を「不足する額1億775万6千円」に改め、資本的収入を837万7千円増額し、資本的収入総額を4億4494万9千円とするもの。

資本的収入の主な増額は、白馬山麓事務組合負担金人件費分によるもの。

質疑討論はなく採決したところ、議案第32号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

以上、産業経済委員会の審査等についての委員長報告といたします。